

おおさかプラスチックごみゼロ宣言

プラスチックは、安価で使いやすいことから、20世紀半ば以降、我が国においても急激に普及し、現在、私たちの生活は大きく依存したものとなっています。その一方、不用意にごみとして捨てられるプラスチックなどが、河川などを通じて海へ流れ込み、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、近年、地球規模で問題となっており、細分化されたマイクロプラスチックによる生態系への影響も懸念されています。

2019年G20大阪サミット及び2025年大阪・関西万博の開催地として、SDGs（持続可能な開発目標）先進都市を目指す大阪は、プラスチックの資源循環を推進し、プラスチックごみによる河川や海洋の汚染の防止に率先して取り組み、国際社会に貢献していく必要があります。

このため、府民・市民や企業等と連携し、海洋プラスチック汚染の実態の正しい理解を深めるとともに、使い捨てプラスチックの削減や3R（リデュース、リユース、リサイクル）のさらなる推進、プラスチックごみのポイ捨ての防止、紙等のプラスチック代替品の活用など、プラスチックごみゼロに向け、自ら不断の取り組みを行うことをここに宣言します。

2019年1月28日

大阪府知事

松井一郎

大阪市長

吉村洋文

おおさかプラスチックごみゼロ宣言に係る大阪府・大阪市による実施内容

大阪府及び大阪市は、プラスチックごみゼロを目指し、以下に掲げる具体的な行動を実施します。

大阪府市共通

- ・ 庁舎、関連施設における使い捨てプラスチック使用削減及びプラスチックごみの適正処理の一層の推進
- ・ 職員による使い捨てプラスチック使用削減及びプラスチックごみの適正処理の取組みの徹底
- ・ 環境イベント、HP、チラシなどによる府民・市民への意識啓発
- ・ 河川や海岸、道路、公園等の清掃活動の推進

大 阪 府

- ・ 各市町村への宣言実施の依頼及びプラスチックごみの削減に係る調整
- ・ 経済、業界団体その他関係団体への宣言実施の依頼
- ・ 大阪湾のマイクロプラスチックの実態調査の実施
- ・ プラスチックごみに係る3R及び適正処理の推進（事業者の新たなプラスチック対策を推進するための体制整備等）

大 阪 市

- ・ エコバッグを常に携帯する運動の推進（大阪エコバッグ運動）
- ・ 地域、事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築（みんなで取り組むペットボトル循環プロジェクト）
- ・ 国連環境計画（UNEP）、国際環境技術センター（IETC）と連携し、プラスチック資源循環など環境分野における大阪市の取組みを世界に発信
- ・ 友好都市（上海市）と廃棄物分野の都市間協力による3Rと適正処理の確保

※ 大阪市としてのプラスチックごみ削減目標は、国の「プラスチック資源循環戦略」の策定等を踏まえて、2019年度当初に策定する。